



こぼと保育園建設委員会の解散にあたって

こぼと保育園建設委員会委員長 門田雅臣

日頃より、建設委員並びに関係者の皆様方には本園の事業にご支援・ご協力をお寄せいただいております。感謝申し上げます。

おかげ様をもちまして園舎建築・園庭整備が若干の残工事を残すものの完了の運びとなりました。

そこで去る六月二十二日開催の第17回建設委員会をもちまして、本委員会の活動を停止し、解散することとします

老朽化した園舎を更新し、時代に適応した、豊かで、安心、安全が保障される園舎へと衣替えする建替えは法人にとって近年焦眉の課題でした。

法人では、全園の希いを込め園舎建替え建設員会（略称 建設委員会）を設立しました
設計仕様の検討では

「玄関は欲しいわね。自転車置き場には屋根が必要ね」「平屋がいいけれど、ホールの広さは、現状並みを確保したい。」 悩み多い要望の検討が繰り返されました。

私たちは新しい園舎に①こぼとの保育を豊かにする場②職員が働きやすく、充実した日々が送れる場③地域に開かれた場となる願いを込めてきました。

法人が初めて経験する建て替え事業であり、二度の新築経験はすでに昔の話に入りつつある中での船出でした。

資金が窮屈であるという前提以外にも

敷地内で保育を続けながら新園舎を立てるという難題に加えてコロナ禍の猛威で、資材高騰、製造ライン停滞、工期の延伸などがありました。

そのような困難の中でも理事会、職員、保護者・OB、後援会と設計者、施工者は一致協力して夢の実現を目指しました。

夢の実った新園舎のそこので子ども達の笑顔が見られます

○広いホールと廊下で

0才児がニコニコ顔で思いっきりハイハイしています。

心も体も解放されて



日当たり良好のランチルーム

○ランチルーム

部屋の仕切りも出入り口も全開、1Fは0才から3才までが、つながっています。

クラスのわくを越えて日々の生活の中で大きい子も小さい子もふれあい、交流して共に生活あそんでいます

○こいのぼり作成中

床にえの具をこぼしてしまった年長さん

「新しい保育園汚しちゃったよー」とぞうきんでふいていました。

自分たちの保育園という意識カナ…

(園長 採取)



鯉のぼりづくりに挑戦

こぼと丸の行く手には広々とした海原が続いています。確固とした運営を旺盛に

展開してこそ新しいこぼとの保育を根付かせられます

いざ、旅立たん。未来へ

園舎のどこに心地よい風が吹くのか。
 ひと休みするにはどこが落ち着くのか。
 園庭でかたいどろだんごを作るにはどのような土が良いのか。
 虫たちがいる土は？石は？草は？
 子どもたちは、新しい園舎になっても、すぐにそれがわかります。
 それは、3年以上、建設委員会で「新しいこぼとへ今のこぼとの良さを引き継ぎたい」という思いで話し合い、考えてきたからだと思います。
 みんなの力ってすごいです。

これからも、みんなで「こぼと」をつくっていきましょう。

こぼと保育園 園長 木下恵美子



工事費報告

<工事関係費用>

工事費	338,531,710 円
解体撤去費用	11,268,290 円
設計管理費用	9,350,000 円
追加工事費用	12,210,000 円
その他経費	14,100,000 円
(合計)	385,460,000 円

<財源>

民間保育所等緊急整備事業補助金	188,565,000 円
独) 福祉医療機構借入金	110,000,000 円
自己資金 (寄付金含む)	86,895,000 円
(合計)	385,460,000 円

新型コロナウイルス感染拡大による、資材の高騰、半導体不足による納期遅延等の理由で工期延長となり、1,200万円工事費が増額となりました。

福祉医療機構からの借入れにより、支払いは済みましたが、今後は長期的に借入金の返済をしていく必要があります。

継続的な財政活動や、クラウドファンディングへの挑戦など、新しいチーム作りをし、動き出しているところです。

<寄付金関連>

後援会発行の「こぼとっこ通信」とともに、建設資金寄付の訴えを同封し、1月末に送付しました。その後、たくさんの方からご寄付をいただいております。

7月末現在

<在園児保護者・職員>	93件	825,000円
<OB>	73件	2,314,000円
合計	165件	3,139,000円

保護者の方からのコメント集

新園舎が完成する過程を、旧園舎から見ながら、3月19日に新園舎へお引越ししました。明るく開放感のある2階建ての園舎で、とても明るく温かみがあり、また、園庭も広く、子供たちものびのびと過ごしています。

旧園舎で過ごした思い出と共に、新園舎でも沢山思い出を積み重ねていきたいです。

あひる・らいおん組 國分

新園舎建設おめでとうございます。

建物全体が以前より開放的になって、子供たちが各部屋を自由に動き回っているのを見るととても微笑ましく思います。娘は、園庭整備中、ホールのそれぞれの窓から順番に顔を覗かせて、親を見送る

のが楽しかったようです。

また、新しい園庭にも大きな土山を作ってください、ありがとうございます。親にとっては、洗濯が大変だったり、ズボンに穴が開きやすかったりと驚くこともありますが、たくさん遊んで、たくましく育て欲しいです。

こぼとっこが安心してのびのび過ごせるよう、これからもよろしくお願いします。

きりん組 櫻井

新園舎を建設するにあたり、数年にわたり意見交換をし、先生方と保護者の子どもに対する想いが「新園舎」として形になりました。素敵な園舎で、これからも”こぼとらしい”保育を期待しています。

建設委員 加藤

3年間、建設委員をやり、どんな新園舎にしたいか話し合う中で、園が目指している教育方針や子供達への想いなど、直接聞く機会が沢山あり、外側（新園舎）だけではなく内側（先生方の教育信念）も素敵な保育園だと改めて実感しました。

これからも、子供達や先生達の笑顔が溢れる園舎であることを願っています。

そして、次はログハウス建設です。園と保護者の皆さんと共に、こぼとっこに愛される、3代目ログハウスの完成を目指し、活動が始まりました。今から完成が楽しみで、ワクワクしています。

建設委員 内田



広い園庭！たくさん遊ぼう



土山のぼったよ



0歳児 はじめての水遊び！

2018年11月に行われた建設委員会（構成メンバー/理事・後援会代表・保護者代表委員・職員代表）から始まり、園舎設計について、15年前に勝瀬こぼと保育園を建設した経験を活かし、たくさん議論を交わした 思いが詰まった新園舎が完成しました。

2022年3月19日（土）在園児保護者、ふじみ野保育園・勝瀬こぼと保育園職員、建設委員、増木工業の方々が集まり、引っ越し作業を手伝ってくれました。20（日）、21（祝）は、こぼと保育園の職員で22日からの保育の受け入れ準備を行い、3月22日（火）から新しい園舎での生活が始まりました。また、6月から、園庭も使えるようになり、現在に至ります。

開けた、開放的な空間で、子どもたちが楽しく生活を送れていること、そして、建設事業としては、一区切りしたため、「こぼと保育園建設委員会」は、6月22日の会議を持って解散といたしましたことをご報告申し上げます。

《こぼと保育園 建設委員》

委員長 門田雅臣

副委員長 木下恵美子 佐久間佳揚子

事務局（理事） 築明男 前田清海 峠徳美 （後援会） 押見隆夫 紙谷直機

（職員） 市川裕子 佐野直美 有馬由利子 原貴美子 大谷優子 堀平先美

設計部会（こぼと保育園保護者） 内田麻子 加藤かなえ （後援会） 上野直美

（職員） こぼと：篠原亜紀子 橋本美優 ふじみ野：中原麻衣子 鹿岡美香子

勝瀬こぼと：小林えり奈 野上麻希

こぼと保育園ホームページ

読み取り QR コード



ホームページ内 **menu** ボタンを押し、 **建設委員会ニュース** を選択していただくとバックナンバーが閲覧できます。



新園舎です！遊びにきてください。